

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成16年11月18日(2004.11.18)

【公開番号】特開2000-48435(P2000-48435A)

【公開日】平成12年2月18日(2000.2.18)

【出願番号】特願平10-216835

【国際特許分類第7版】

G 11 B 15/61

【F I】

G 11 B 15/61

K

【手続補正書】

【提出日】平成15年12月2日(2003.12.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

磁気テープを巻装する供給側及び巻取り側の一対のリールを有するカセットを装着し、前記磁気テープに信号を記録再生する磁気ヘッドを搭載した回転ヘッドドラムと、前記ドラムに対して、テープの巻付け角度を規定するために設けられたドラム進入側及び退出側の一対のテープガイドと、前記磁気テープを所定の速度で走行させるテープ走行手段と、前記両リール近傍でテープ走行位置を規定するために設けられた供給側及び巻取り側の一対のテープガイドを有する磁気記録再生装置において、

前記供給側リールと前記ドラム進入側テープガイドへのテープ入射点との間のテープ走行面と、前記巻取り側テープガイドのテープ出射点と前記巻取り側リールとの間のテープ走行面とにおいてテープ面にねじりを与える、前記以外のテープ走行面において、少なくとも前記ドラム進入側テープガイドのテープ出射点から前記ドラム退出側テープガイドのテープ入射点まではねじりを与えないように、テープ走行路を構成する前記各テープガイドの姿勢を設定したことを特徴とする磁気記録再生装置。

【請求項2】

磁気テープを巻装する供給側及び巻取り側の一対のリールを有するカセットを装着し、前記磁気テープに信号を記録再生する磁気ヘッドを搭載した回転ヘッドドラムと、前記ドラムに対して、テープの巻付け角度を規定するために設けられたドラム進入側及び退出側の一対のテープガイドと、前記磁気テープを所定の速度で走行させるテープ走行手段と、前記両リール近傍でテープ走行位置を規定するために設けられた供給側及び巻取り側の一対のテープガイドを有する磁気記録再生装置において、

前記供給側リールと前記ドラム進入側テープガイドへのテープ入射点との間のテープ走行面と、前記巻取り側テープガイドのテープ出射点と前記巻取り側リールとの間のテープ走行面とにおいてテープ面にねじりを与える、前記以外のテープ走行面において、少なくとも前記ドラム退出側テープガイドのテープ出射点から前記巻取り側テープガイドのテープ入射点まではねじりを与えないように、テープ走行路を構成する前記各テープガイドの姿勢を設定したことを特徴とする磁気記録再生装置。

【請求項3】

請求項1記載の磁気記録再生装置において、前記供給側テープガイドのテープ入射点中心高さと、前記供給側リールに巻装されたテープ全幅の中心高さが略同一になるように設定され、かつ前記巻取り側テープガイドのテープ出射点中心高さと、前記巻取り側リールに

巻装されたテープ全幅の中心高さが略同一になるように設定したことを特徴とする磁気記録再生装置。

【請求項 4】

請求項 1 または請求項 2 記載の磁気記録再生装置において、テープ走行時の前記供給側テープガイドのテープ出射点から前記ドラム進入側テープガイドのテープ入射点へのテープ走行方向が、前記ドラム進入側テープガイドの中心軸に対して略直交するように、前記供給側テープガイドの位置及び姿勢を設定したことを特徴とする磁気記録再生装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

【課題を解決するための手段】

上述の目的を達成するため、本発明による磁気記録再生装置は、磁気テープを巻装する供給側及び巻取り側の一対のリールを有するカセットを装着し、前記磁気テープに信号を記録再生する磁気ヘッドを搭載した回転ヘッドドラムと、前記ドラムに対して、テープの巻付け角度を規定するために設けられたドラム進入側及び退出側の一対のテープガイドと、前記磁気テープを所定の速度で走行させるテープ走行手段と、上記両リール近傍でテープ走行位置を規定するために設けられた供給側及び巻取り側の一対のテープガイドを有する磁気記録再生装置において、前記供給側リールと前記ドラム進入側テープガイドへのテープ入射点との間のテープ走行面と、前記巻取り側テープガイドのテープ出射点と前記巻取り側リールとの間のテープ走行面とにおいてのみテープ面にねじりを与え、前記以外のテープ走行面において、少なくとも前記ドラム進入側テープガイドのテープ出射点から前記ドラム退出側テープガイドのテープ入射点まで、もしくは前記ドラム退出側テープガイドのテープ出射点から前記巻取り側テープガイドのテープ入射点まではねじりを与えないように、テープ走行路を構成する前記各テープガイドの姿勢を設定した。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

さらに、テープ走行時の前記供給側テープガイドのテープ出射点から前記ドラム進入側テープガイドのテープ入射点へのテープ走行方向が、前記ドラム進入側テープガイドの中心軸に対して略直交するように、前記供給側テープガイドの位置及び姿勢を設定した。